

# 連携医院のご紹介

今回は、佐伯区海老園で、患者さんの言葉をきちんと聴く診療を基本理念としている石川内科外科クリニックの石川院長にお話を伺いました。



石川院長と推しチームのユニフォーム

## 石川内科外科クリニック

〒731-5135  
 広島市佐伯区海老園2-10-21  
 電話/082-923-1100  
 院長/石川 哲大  
 診療科目/内科・外科・緩和ケア



### ○開業されてから今までのことを教えてください。

広島市佐伯区海老園にて、もともと義父が開業しておりました病院を、平成26年より継承し、9年半が経過いたしました。昭和56年に広島大学病院第二外科に入局しました。頭の方から足の先まで全部診るところでしたので、甲状腺、乳腺、消化器系、血管、腎臓移植の手術など幅広く勉強しました。平成21年からJA尾道総合病院で勤務した5年間で、これまでとは違い、総合診療科、緩和ケア、救急センターなども担当し、大変忙しく過ごさせていただきました。当時は尾道市医師会の先生方との交流

が公私ともに深く、在宅医療、緩和ケアなど地域医療の本質を学ぶことができ、開業してから非常に役に立っています。多職種との連携によるチーム医療についても学び、病院の中での立場と開業医としての立場の両方を経験できました。こうした経験を通じて、地域の皆様の在宅医療、緩和ケアなどについて、多職種と連携しもっと発展させようと取り組んでいます。

### ○クリニックの特徴を教えてください。

現在、医師1名、看護師4名、事務職員4名、薬剤師1名のスタッフで外来診療を行い、地域の多職種との連携による往診・訪問診療も行っています。どのようにしたら外来診療と訪問診療が両立できるかを考え、日々診療にあたっています。内科領域では地域の皆様の安心につながる一般内科、プライマリーケアを実践したいと思っています。より精度の高い検査や手術の必要な患者さんは、ネットワークを通じて基幹病院や専門科へ速やかに紹介致します。外科領域では外傷処置を含め局所麻酔下の縫合処置などを行います。その中でデータに異常はないのに体調が悪い、めまいや頭痛が頻りに、というような自律神経失調症と思われる患者さんに対して効果的であった治療も見出しましたので、これを継続して行いたいと考えています。

### ○毎日の診療で大切にされていることや、やりがいは？

「話を聴く医療」「やさしい医療」を基本理念としています。病気になったら相談に行ってみようと思ってもらえるようなクリニックを目指しています。患者さんの方を向いて診療し、必ず患者さんにしゃべってもらって大切にしています。これまでの勤務医としての経験や多くの患者さんとの出会い

によって培われた、人生観の集大成となるものとして貫いていこうと決めています。

### ○県病院はどんなところですか。

県立広島病院には平成15年から6年間在籍していました。様々な医師とのネットワークが今もたくさんあります。信頼できる医師へ安心して患者さんを紹介しています。

### ○最近のトピックスについて

日々の診療や地域連携について、中学時代から傾倒しているサッカーにより叩き込まれた「チームワーク」の考え方も生かしていくつもりです。私も当クリニックのスタッフは医療すべてを“手当て”として捉え、常に「チーム」を意識して協力し合うことをモットーに地域医療に貢献したいと考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。当クリニックのロゴマークは2つの輪が重なってチームの和を示し、地元に対する愛情からカーブとサンフレッチェのチームカラーを配しました。



【取材後記】  
 石川先生が患者さんやご家族のお話を聴くことや、患者さんの方を向いて診療するなど、日頃から優しい医療に取り組んでおられることがわかりました。サッカー日本代表の森保監督や、サンフレッチェ広島の選手をはじめ様々な方との人脈の広さと先生の優しいお人柄が伺われました。

# もみじ



県立広島病院 ☎082-254-1818 (代)  
 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号



理念：患者さんの権利を尊重し、県民に信頼される病院をめざします。

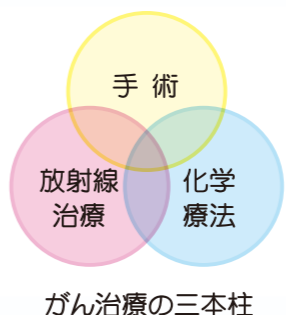
放射線治療科



# 放射線治療



放射線治療科 部長  
 土井 敏子



みなさん、放射線治療をご存じですか？放射線治療は、がん治療の三本柱(手術・化学療法・放射線治療)の一つであり、がん

ありますか？とか質問を受けますが、頭やお腹に放射線を照射しない限りはそのようなことは起きません。

近年の薬物療法の進歩も相まって、様々な疾患において放射線治療の適応が広がり、放射線治療科への相談件数も増えています。がんの状態は多種多様なので、すべてのがんに放射線治療が一樣に効果を発揮することはありませんが、私たち放射線治療科は、個々の状態に応じた最大の効果が得られるように尽力したいと思います。自分の病気に放射線治療の適応があるのか疑問に思う方は、まずは主治医とよく相談してみてください。

治療に欠かせない重要な治療法です。放射線はその存在を感じたり触ったりすることが出来ないで、怖いなぁと思う方も多いと思いますが、私たち放射線治療科は、この空気のような放射線を正確に操ってがん病巣を狙い撃ちにします。当院も昨年度によりやく高精度な放射線治療器へ更新したので、複雑な形状の腫瘍に無駄なく照射できる強度変調放射線治療(IMRT)を行うことも可能になり、正常な組織を守りつつ病気の部分へ大量の放射線を照射出来るようになりました。

放射線治療は、放射線ががん細胞の遺伝子DNAに傷をつけて細胞分裂や増殖を妨げることで治療効果を得ます。X線では一回の照射でDNAに完全な傷をつけることができないため、一般的には数回～35回程度の照射が必要になります。一日1回、月曜日から金曜日まで毎日約10分程度の放射線治療を行います。もちろん、放射線治療に伴う痛みや熱感などを感じることは全くなく、基本的には日常生活を大きく変える必要はありません。放射線治療の副作用は照射している部分にしか出現しないので、手術や化学療法と比べて身体への負担が軽いという点も放射線治療の特徴です。時々、髪が抜けますか？とか、吐き気が



当院に設置している最新の放射線治療器です。地下にある施設ですが、天井には青空が広がっています。

## 県立広島病院からのお知らせ

### 12月のがんサロン

開催日時 令和5年12月8日(金) 14:00～15:00  
 場所 新東棟2階 研修室 及び オンライン  
 テーマ 最新！子宮がん・卵巣がんの治療と遺伝の話  
 講師 産婦人科(兼)ゲノム診療科 部長/白山 裕子 医師  
 対象 悪性腫瘍(がん)の患者さん 及び そのご家族(当院受診歴不問)  
 問合せ先 がん相談支援センター ☎082-256-3561



### クリスマスコンサート

12月25日(月) 中央玄関ホール 14:00～  
 どなたでも自由に鑑賞いただけます。

### 年末年始 休診のお知らせ

年末年始の外来診療を、次の通りとさせていただきます。皆様には大変ご不便をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

2023 12月				2024 1月			
28	29	30	31	1	2	3	4
木	金	土	日	祝	火	水	木
平常通り		休	診				平常通り

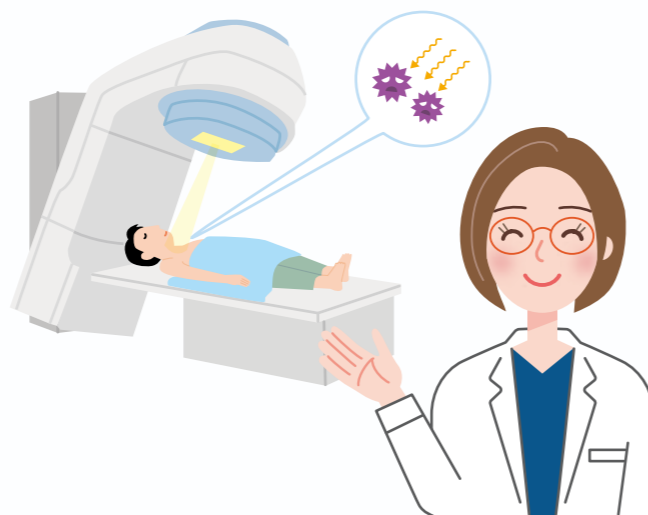
## ◆進化する放射線治療

近年の放射線治療の技術革新には目を見張るものがあります。放射線治療器が高精度化して昔よりも格段に高い線量率（最大で2400MU/min）や画像照合精度（0.1mm/0.1°）が得られるので、がん病巣を短時間で狙い撃ち出来るようになりました。また、腫瘍の形状に合わせて線量分布を作成出来る強度変調放射線治療（IMRT）/強度変調回転照射（VMAT）が開発されたことで、複雑な形状の標的体積へ無駄なく照射出来るようになりました。処方方法の概念も変化し、正常組織を守りつつ標的体積へ大量の放射線を照射するようになりました。放射線の物理現象を正確に表す計算アルゴリズムも改良され、コンピュータのスペック向上に伴い、計算速度や精度、画像処理能力が格段に向上しています。私たち放射線治療科は年々進化するこれらの放射線治療技術をうまく利用し、丁寧に効果の高い放射線治療を速やかに提供出来るように努力しています。

一般的に、放射線治療単独よりも薬物療法を同時期に組み合わせることで治療成績は向上します。特に切除不能局所進行肺がんは、根治的な化学放射線治療の後に免疫療法（デュルバルマブ）を行うことで3人に1人が助かる見込みになってきました。免疫療法は自分の体で作られる免疫応答を利用してがん細胞を攻撃する仕組みを応用した治療法ですが、肺がんのように、放射線治療と組み合わせることで相乗効果が得られる場合があります。今後さらに研究が進むと、他の疾患においても免疫療法と放射線治療の組み合わせによる治療成績の向上が期待できると考えています。

また、最近では、限局的で少数の転移のみにとどまっている、いわゆる「オリゴ転移」の病態に対して、積極的に局所治療を行うと治療成績が高まるという研究結果が欧米から複数出てきました。当院でもオリゴ転移を有する患者さんに対して局所制御を期待した放射線治療を積極的に行っています。

個々のがんの病態は非常に複雑で一様ではありませんので、放射線治療の効果も個人差があります。私たち放射線治療科は基本的には各疾患の診療ガイドラインに則って治療方針を決定しますが、安全で治療効果が高いと思われる最新の知見も取り入れながら、患者さんに最大の貢献が出来るように尽力しています。また、放射線治療器の特徴や利便性を考慮して、東区二葉の里にある広島がん高精度放射線治療センターでの放射線治療もお願いしております。医療機関の皆様におかれましては、放射線治療に関する不明な点がありましたら、遠慮なく当科へご連絡頂きたいと思っています。



教えて  
Dr. 70

## 外科医の独り言...no.146

## — 臓器移植 —

先日、臓器移植推進国民大会が広島市で開催され、これまで当院が臓器移植の推進に顕著な貢献をし、厚生労働大臣より感謝状を頂けるといことで、病院全職員を代表して授与式に出席しました。感謝状授与に際しては一言挨拶を、ということで本当はもう少し話したかったのですが、時間が押していたため簡単な御礼にとどめました。

この国民大会では、まず「ともに結ぶいのちのリボン」をテーマに、予備審査で選ばれた広島県内の高校生3名によるスピーチコンテストが行われました。次いで高校生自らが脚本から考えた臓器移植を題材とした約50分間にも及ぶ演劇を披露してくれました。皆実高校演劇部の皆さんです。交通事故に遭って脳死となり、移植ドナーとなった息子の母親の悲しみと葛藤、そして息子の臓器が臓器移植を受けた患者さんの体の中で生き続けていることへの希望をもって前向きに生きていく母親を熱演してくれた女子高校生、もう涙なしでは観ることができませんでした。もちろん演技力、劇の構成や舞台装置などプロの演劇にはかないませんが、息子がドナーとなった母親の思いを十分すぎるくらい一生懸命演じてくれました。そして、心臓移植を待つ患者を演じていた女子高校生も、移植を早く受けたいという思いがある一方で、誰かが脳死になることを待っていることへの罪悪感、自己嫌悪感をうまく表現していたと思います。それにしても劇中の長セリフ、よくもまあ若いだけあって記憶力も大したもの。認知症の入り口に立っている私にはとても覚えることができないでしょう。ただし、そんな私はアドリブには自信があるので、主治医役くらいはできたかもしれません。実は、感謝状の贈呈式が終わったらさっさと帰ろうかなと思っていたのですが、それが恥ずかしくなるくらい心に響く演劇でした。皆実高校演劇部の皆様に拍手です。

この感動的な演劇の後に、心臓移植を受けた患者さん、母親が脳死ドナーとなった娘さん（Webでの参加）、当院の移植外科、そして広島大学病院の移植外科の先生、そして心臓移植患者さんをもっと密着取材してきたテレビディレクターが登壇され、臓器移植に関するトークショーが行われました。実際に臓器を提供された家族の方や臓器移植を受けられた方の生の声を聴くことができ、15年以上移植医療の現場から離れていた私ですが、やはり臓器移植のすばらしさを改めて確認することができ、当院も引き続き臓器移植に貢献できるように取り組んでいくことを改めて誓った次第です。

さて、日本で臓器移植を希望されている患者さんは約16,000人で、そのうち実際移植を受けられる患者さんは年間400人、わずか3%です。わが国の人口100万人当たりのドナー数（臓器提供数）は、アメリカの50分の1、お隣韓国の9分の1で、ドナー不足は深刻です。脳死の場合に移植できる臓器は、心臓、肺、肝臓、腎臓、膵臓、小腸、角膜があり、1人のドナーで複数の患者さんの命を救うことができ、患者さんは通常の生活を取り戻すことができます。

免許証を持っておられる方は裏面を見てください。臓器提供に関する意思表示をすることができます。もちろん私は、1番の「私は脳死後および心臓が停止した死後のいずれでも、移植のために臓器を提供します」の所に力強く丸を付けています。ただし、今年66歳になる私に使える臓器があるのかどうか心配です。日本臓器移植ネットワークのホームページを見ると、年齢だけなら肺と腎臓は使えそうですが、これまで不摂生を重ねてきた私の過去を振り返ると、残念ながら移植に使えそうな臓器はなさそうです。



院長/板本 敏行

## 脳心臓血管カンファレンス

脳心臓血管センター長/上田 浩徳

## 原発性アルドステロン症 (PA; Primary Aldosteronism)

【循環器内科/光波 直也】

わが国の脳心血管病による死亡に対する最も寄与する危険因子は、高血圧と報告されています。また、高血圧管理率は、年々増加してきています。2016年のわが国の国民健康・栄養調査データから、高血圧有病者が4,300万人（治療・未治療者を含む）で、そのうち治療によってコントロールが良好（140/90mmHg未満）な患者は1,200万人と推計されています。大部分は本態性高血圧ですが、高血圧患者の約5%に、二次性高血圧のPAが存在します。PAとは副腎皮質病変からアルドステロン（腎臓でのNaと水の再吸収を増加させ、循環血漿量増加による血圧上昇をさせるホルモン）の自律的過剰分泌によって血圧上昇がもたらされる疾患です。PAは、高血圧罹病期間が長くなるにつれて臓器障害の合併が増加するため、治療介入が必要です。治療法としては、一側性病変であれば腹腔鏡下副腎摘出術が第一選択となりますが、手術希望がない場合や両側性の例では降圧薬による治療となります。当科ではPAの診断と治療を積極的に行っています。



## ご意見箱

結果表の意味が知りたい。 貴重なご意見をありがとうございました。

血液検査結果表の結果にHの欄が沢山あるが、先生の診察の後に紙を1枚渡されただけで、説明もなかったので結果表にあるアルファベットの意味が全然わからない。

この度は大変不便な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。ご指摘を受けまして今後は診察の際に検査結果を丁寧に説明し、患者さんに寄り添い質問しやすい雰囲気づくりを行うよう徹底してまいります。また、当院では『検査データの見方』というリーフレットもご用意しておりますので、お気軽にメディカルクラークや、最寄りのスタッフへお声掛け下さい。